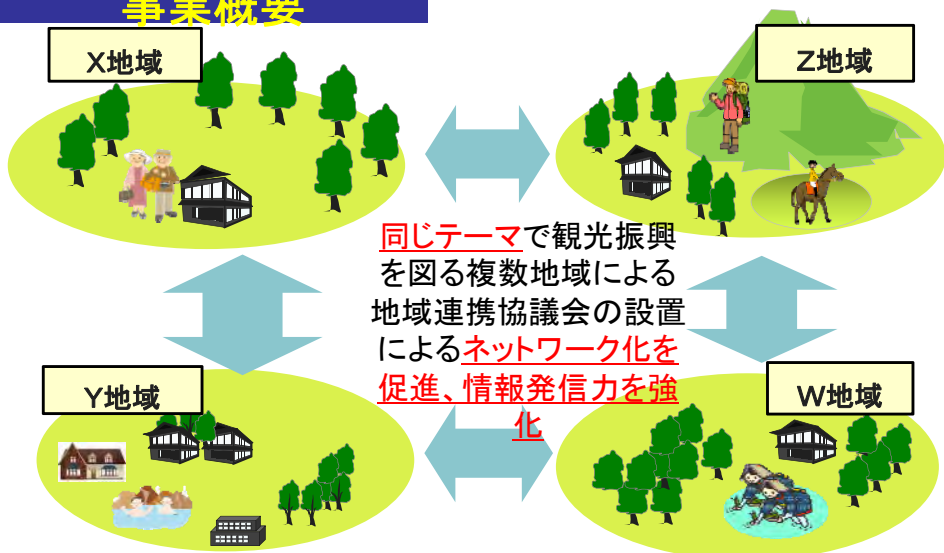


共通の観光資源(世界遺産、日本遺産、社寺、酒蔵等)により、観光振興を図る各地域をネットワーク化し、共同プロモーション等の取組を通じた、モデルケース形成を支援する。
地方誘客の促進とネットワークの自立、継続する仕組み構築を目指す。

事業概要



地域連携協議会の構成

各地域の市町村や関係団体等から構成

事業の流れ

地域連携協議会の設立・準備

↓
地域連携協議会の設立

↓
ネットワーク化

↓
各地域間の情報共有と共通した取組の実施

国による支援例

- ネットワークの構築**
- ・地域連携協議会の設立
- ネットワーク間の共同での取組**
- ・マーケティング
 - ・共通パンフレット
 - ・周遊クーポン等の作成
 - ・周遊プランの形成
 - ・共同プロモーション
- ネットワークの拡大推進**
- ・共同サイト開設
 - ・シンポジウム開催
 - ・共通マニュアル作成 等

支援計画

ネットワークの自立、継続のため、必要に応じ複数年の支援も予定

例

- 1年目
- ・ネットワークの構築
 - ・マーケティング

- 2年目
- ・共同サイト開設
 - ・共同プロモーション
 - ・モニターツアー開催

- 3年目
- ・共通マニュアル作成
 - ・周遊プラン形成

- 4年目～
- ・**ネットワークの自立性、継続性の確立**

テーマ別観光の例

酒蔵ツーリズム

- ・酒造りの現場見学会の開催
- ・杜氏を交えた利き酒会
- ・酒の副産物を活用した商品開発



期待される効果

旅行者

- ・我が国の固有のテーマを探求したいリピーター等に質の高い旅行を提供し、特定のテーマに関心の高い旅行者にとって、**より魅力的な旅行を享受**

各地域

- ・新たなテーマ設定による地域の観光資源の発掘
- ・旅行者の地方誘客動機を促し、**新たな需要を創出**

地域連携協議会

- ・地域間で課題や**成功事例を共有**することによる、**効果的な観光振興策の推進**

【ロケツーリズムによるシティセールスとインバウンドの確立】

「映画・ドラマのロケ地を訪ね、物語の世界にひたり、その地域のファンになること」を定義とし、ロケ地を観光資源として活用し、地域の活性化に繋げる取組みを目指す。

また、国内における「ロケ地行楽度の向上」・「ロケ支援度の向上」を図り、国内外からの旅行客増加を目指す。

各地域のテーマへの取組み

主な事例：静岡県河津町
(伊豆河津ロケーションサービス)

- ・ **ロケ地を観光資源として活用**し、ロケによる観光客増加周遊促進、ロケ地マップの作成、ツアープランの作成等を行い、**官民一体**による、地域の魅力発信に取り組んでいる。
- ・ 先進地域**神奈川県綾瀬市**への視察訪問を実施。**住民参加型のおもてなし**方法を取り入れている。



ツアーチラシ
(静岡県河津町)



エキストラ協力
(神奈川県綾瀬市)

ネットワークの活用方法

<地域>

- ・ **ノウハウをマニュアル化**することで、**各地域の成功事例を共有**し、効果的な観光振興策を推進。

<旅行者>

- ・ **情報を一括に集約し発信**することで、複数地域への来訪需要を創出。



千葉県外房4市町の連携いすみ外房**ロケ地MAP**
(千葉県いすみ市・勝浦市・御宿町・大多喜町)

取組内容

国支援上限額

9,000千円

取組内容

- **ロケ誘致から観光客向けの情報発信までのノウハウをマニュアル化**
 - ・ 効果的なロケ対応で制作者のとのトラブル回避
 - ・ 肖像権をクリアにする著作権活用
 - ・ 著作権を活用した観光客向けのロケ地MAP
 - ・ 地域の経済効果、広告換算効果の算出方法 等
- **共同サイトの開設と情報発信**
 - ・ 地域の魅力と取組み内容を紹介
 - ・ PUSH形式で旅行者へ情報を配信 等
- **情報共有の場作り**
 - ・ 定期的な協議会の実施
 - ・ シンポジウムの開催
 - ・ 先進地視察 等

○歴史的景観、美しい自然、海洋資源、豊かな農山漁村、魅力ある食文化等の観光資源を活かした着地型旅行商品と、体制づくり、受入環境整備、二次交通の充実等の施策を一体的に支援することにより、観光地域づくりを推進。

事業イメージ



パッケージとして観光地域づくりを支援

支援対象

単一市町村、観光協会、交通事業者、地域づくりの取組を実施する者等により構成される協議会

支援内容

個別事業の実施に必要な経費の総額の2分の1以内の金額を予算の範囲内で負担

個別事業の例

観光地域づくり等に関する計画の策定

マーケティング調査の実施

滞在コンテンツの充実・強化

- ・着地型旅行商品の造成
- ・地産地消の推進
- ・街歩き、見所を理解するためのガイド育成
- ・宿泊施設の魅力向上

地元での消費拡大

- ・着地型旅行商品の予約システムの検討
- ・地域の農産品等を活かした名産品の開発

来訪者の利便性等向上

- ・観光地周遊バスの実証運行
- ・遊休施設を活用した情報発信

外国人受入環境整備

- ・観光案内の多言語表記化
- ・Wi-Fi環境の導入検討
- ・免税店の導入検討

倉吉市だからこそ発信できるクールジャパンの素材を、観光の強みである文化財や食と融合・調和させ、官民地域が一体となって、倉吉市の伝統的な町並みの真の魅力を若者世代・外国人を含むあらゆる観光客に向けて発信し、持続的な観光誘客と、地域の活性化を目指す。

地域資源

- ・白壁土蔵群等の伝統的建造物
- ・ポップカルチャー
- ・地元料理・食材 (ちくわ)



活用方法

- ・打吹地区の伝統的建造物とポップカルチャーを融合・調和させ、若者世代や外国人観光客の興味関心を喚起
- ・多様な地元料理とポップカルチャーの名物を融合させた名物料理を開発し、消費拡大を図る



取組内容

総事業費 (うち、国の負担額)

22,100千円 (うち、10,000千円)

取組内容

・マーケティング調査

- ・地元大学と協力して来訪者のニーズ把握のための各種調査を行う

・魅力発信事業

- ・ひなビタ♪と打吹まつりとのコラボレーション
- ・観光客回遊を促すイベントを通じた情報発信

・消費拡大事業

- ・名物「ちくわ」を使った新たな名物商品の開発

・着地型旅行商品開発事業

- ・街並みを通じて、倉吉の魅力に触れられるツアーの企画開発とプロモーション

・外国人受入環境整備

- ・白壁土蔵群での多言語音声ガイドシステムを導入